

➤ 使用上の注意事項

- 使用前によく振ってから使用して下さい。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守って下さい。
 1. 敷布は敷布機種の敷布基準に従って実施して下さい。
 2. 敷布に当っては敷布機種に適合した敷布装置を使用して下さい。
 3. 敷布中、薬液の漏れのないように機体の敷布配管その他敷布装置の十分な点検を行って下さい。
- 本剤を希釈倍数 500 倍で敷布する場合は、所定量を均一に敷布できる地上液剤敷布装置を使用して下さい。
- 本剤を軟弱な苗に灌注または株元灌注すると薬害を生じるおそれがありますので注意して下さい。きゅうりに株元灌注する場合には、薬液が新芽にかかると縮葉等の薬害を生じる場合がありますのでからないように処理して下さい。
- 本剤をきゅうり、すいかおよびメロンのセル成型苗に株元灌注または灌注すると、薬害を生じるおそれがありますので注意して下さい。
- はくさいに使用する場合には、曇天および夕刻等の敷布後に葉面上の薬液が乾きにくい条件で薬害を生じるおそれがありますので、注意して下さい。
- ぶどうに使用する場合、品種「瀬戸ジャイアンツ」では新葉に褐変を生じることがありますので注意して下さい。
- やなぎに対しては薬害を生じるおそれがありますので、付近にある場合はからないように注意して下さい。
- 機能性展着剤を加用してなすに敷布する場合、果実表面にくぼみ状の薬害が生じるおそれがありますので、事前に薬害の有無を確認して使用して下さい。
- 蚕に対して長期間毒性がありますので、周辺の桑葉にからないようにして下さい。
- 本剤はマルハナバチに影響がありますので、本剤を使用する場合には他の方法で受粉作業（人工授粉、植物ホルモンなど）を行って下さい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 最高分けつ期から出穂開花期の稻に本剤がかかると不稔などの薬害を生じる場合がありますので、からないように注意して下さい。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

➤ 安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性がありますので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗して下さい。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管して下さい。

※使用する際は、製品に記載されている説明書（ラベル）を必ずよくお読みになり、記載された使用方法、注意事項等を厳守してください。